超音波検査を介して多職種連携が促進される

第51回日本救急医学会総会・学術集会の話題より

第51回日本救急医学会総会・学術集会（会長＝国立国際医療研究センター・木村昭夫氏：右写真）が11月28日～30日，「日本の救急医学を世界的視野から俯瞰する」をテーマに東京ドームシティ（東京都文京区）にて開催された。本紙では，パネルディスカッション「多職種と構築する超音波における共通言語」（司会＝東京ベイ・浦安市川医療センター・舩越拓氏，兵庫県立こども病院・竹井寛和氏）の模様を報告する。

●写真　木村昭夫氏

◆超音波検査はチーム医療のハブになり得るか

最初に登壇したのは隠岐島前病院の白石吉彦氏。都心部に比べ医療機関が限られるへき地や離島の総合診療医は内科系や運動器系など幅広いcommon diseaseに対応しなければならず，その際に職種を問わず超音波検査を施行可能で，多職種と協働する際の共通言語となっていると氏は述べた。超音波検査が多職種連携を促す具体例として，外来患者に対して理学療法士がエコーによる評価を行ってからハイドロリリースのオーダーが入るフローや，看護師が施行した超音波検査の画像を基に入院患者の治療方針を検討していることを紹介した。「地域医療にこそエコーを積極的に活用していきたい」と決意を語った。

感覚的に検査が施行されていることを問題視した日大の小川眞広氏は，超音波検査の弱点を位置情報が欠如した任意断面の画像が多いことから客観性に乏しく，所見を第三者に共有しづらい点だと指摘した。慢性期医療と比較して救急医療でも経過観察が可能な画像保存方法の有用性は高いとした上で，臨床現場で頻用される超音波検査では，評価の基準となる描出断面統一の必要性を強調。「学会が推奨する基準断面を描出（設定）することで，超音波検査の客観性は高まる」と検査後に再評価できる画像保存方法の重要性を説いた。

続いて辻本真由美氏（横市大附属市民総合医療センターEICU）は，EICUの看護師を対象に，2022年8月より行うPOCUS（Point Of Care Ultrasound）教育プログラムの概要を会場に共有した。同プログラムで行われた肺・直腸・血管・膀胱に対するPOCUSの各OSCEおよびアンケート結果を示し，ほぼ全ての受講者がPOCUSの活用に有用性を感じている一方で，描出結果の評価や解釈に自信が持てない者もみられたと述べた。教育の対策として，臨床現場で看護師がPOCUSを行った際に疑問な点をタイムリーに相談・質問できる環境づくりや症例の共有を挙げ，超音波を活用して多職種と連携するには，看護領域におけるPOCUSの経験蓄積が求められると主張した。

最後に登壇した岡山大病院の上田浩平氏は，外傷の初期診療における迅速簡易超音波検査（Focused Assessment with Sonography for Trauma：FAST）を救急救命士が行う可能性について言及した。氏は岡山市の救急救命士を対象に，独自に作成したFASTに関する教育コンテンツとハンズオンによる勉強会を開催。また，救急車に見立てたドクターカー内で病院救急救命士がウェアラブルカメラを装着しFASTを実施する検証を行ったところ，電波環境の影響や操作に対する指示に時間を要した場面がみられたものの，画像伝送は診断に有用であり，医師の指示下での救急救命士によるFASTの可能性が示された。「救急救命士によるFASTを普及させていくには，対象患者，教育と評価，医師との指示系統など課題は多い」とさらなる検討の必要性を語り，発表を締めくくった。

●パネルディスカッション「多職種と構築する超音波における共通言語」

心の不調に対する「アニメ療法」の可能性

パントー・フランチェスコ　慶應義塾大学病院精神・神経科学教室

現代社会において心のケアが大きな課題であることは誰の目にも明らかです。本連載では，文化精神医学の観点から心の不調についての考察を行った上で，そうした不調に対処するための物語療法，ひいては筆者が新たに提唱する「アニメ療法」を紹介します。イタリア出身の精神科医である筆者から見た日本アニメの可能性とは。

第6回　物語がメンタルにプラスの作用をもたらす仕組み②

前回（連載第5回，本紙第3542号）は，「アニメ療法」の根底にある既存の理論を紹介しながら，基礎的な知識を確認しました。今回は，さらに掘り下げて，物語がメンタルにプラスの効果をもたらす心理的なメカニズムを紹介します。すでに触れたように，全ては感情移入（物語への没入）から始まります。作品に感情的に入り込むことで，自分自身を変える道筋が開かれ，信念，行動の変化がもたらされ得ます。ではその変化とは，どのようなものでしょうか。

グリーンとブロック[1]は，暴力，友情，誠実など，建設的なテーマを取り扱った物語を用いて，被験者に物語作品を鑑賞させた後にアンケート調査を行いました。結果，社会的行動の向上がみられました。被験者は，個人的な利益がなくとも，自発的に他者への関心，共感を示すようになったのです。こうした変化が現れると，非行や暴力といった反社会的行動が減少し，共通の場を大切にする気持ちが強くなります。信念の変化の鍵は感情移入と先述しましたが，具体的にどういったメカニズムを通じて生じる変化なのでしょうか。筆者の考えでは，鑑賞者と物語作品に登場するキャラクターの間に生じる感情的な動態が肝要です。鑑賞者は物語の世界へ没入すると，しばしば自身が作中のキャラクターになったかのように，キャラクターを応援したくなったり，憧れ，好き，嫌いといった生々しい感情を抱いたりすることがあります。このプロセスを，筆者は「同一化」と呼んでいます。

哲学者のウォルハイム[2]によると，人間は日常において自己表現を抑圧されることが多いけれど，他者あるいは物語のキャラクターの視点を借りると，自己を想像的にとらえ直すことができます。元々自身の内面にあるものの抑制されている感情が登場人物の体験に置き換えられ，そうした感情を間接的に自由に表出できる可能性があるのです。社会に認めてもらえないと，葛藤の末に感情を押し殺す恐れがある一方，自己をキャラクターへと預けることで楽になることがあります。鑑賞者はキャラクターから何かを学んで，自分自身へと再帰します。このようなアイデンティティーの「旅路」は，物語がもたらすことのできる心理的な現象と筆者は考えます。

物語作品の鑑賞は，単に現実逃避であると片付けられるものではありません。アニメ療法の目的は，最終的に現実に帰還することです。もちろん作品だけの力で目的を達成することが困難な場合，鑑賞後のカウンセリングや，アニメ療法に特化した作品によって不足を補う必要があります。同一化がいきなり成立するわけでもありません。私たちのアイデンティティーが部分的に特定のキャラクターに惹かれる現象があり，筆者は「共振」と呼んでいます。例えばあるキャラクターが，鑑賞者が長らく憧れている正義感を有していると感じれば（共振），キャラクターの振る舞いや服装，スタイル，話し方をも身につけたい気持ちが生まれるかもしれません（同一化）。

私たちが好奇心と探究心を持って作品に接すれば，憧れの対象を一つに絞れない可能性があります。自分自身のまだ知らない側面に気づくこともあり得ます。複数のキャラクターに対してその複数の性質に共振し，自己発見し，最終的に自己変容する可能性も十分あるということです。生じた自己変化の種は，育てる必要があります。鑑賞後のカウンセリングであれば，カウンセラーとの対話を通じて，新しい発見を深め，自己変化をものにすることも可能でしょう。カウンセラーに頼らない場合は，AIの力を借りながら鑑賞後のタスクをクリアすることで，物語から得たものを現実世界に落とし込むといった方法もあるでしょう。

参考文献・URL
1）J Pers Soc Psychol. 2000［PMID：11079236］
2）Wollheim R. The Good self and the bad self：the moral psychology of British idealism and the English school of psychoanalysis compared. British Academy；1976.

ICU脳波モニタリングのバイブル！

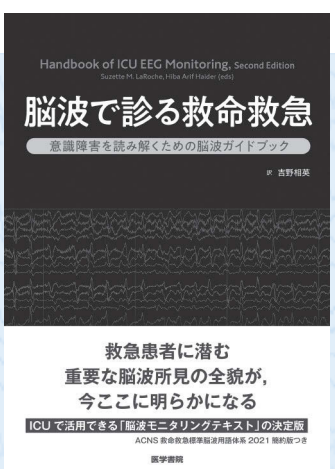
脳波で診る救命救急

意識障害を読み解くための脳波ガイドブック

Handbook of ICU EEG Monitoring, Second Edition
Suzette M. LaRoche, Hiba Arif Haider (eds)

訳 吉野相英

ICU 脳波モニタリングの定番書に待望の翻訳版が登場。装置の設定方法といった基礎的な事項から，判読方法のポイント，疾患に応じた特徴的な所見，そして，治療での活用法まで必須事項を網羅。それら全てが豊富な脳波図と翻訳経験豊富な訳者による精錬された日本語で解説されている必携の書。



書籍の詳細はこちらから

B5　頁464　定価：15,400円（本体14,000円＋税10%）［ISBN 978-4-260-05058-6］　医学書院

問題解決のための理論と実践をQ&A形式で具体的に解説

感染対策60のQ&A

医療関連感染対策の現場で起こる複雑で多様な問題を解決する情報が満載。押さえておきたい60テーマを8カテゴリー（①標準予防策、②感染経路別予防策、③医療器具関連感染予防、④職業感染予防、⑤洗浄・消毒・滅菌、⑥医療環境管理、⑦サーベイランス、⑧新興感染症のパンデミック）に分類し、Q&A形式で具体的に解説。姉妹書の『感染対策40の鉄則』とともにIPC（医療関連感染の予防と管理）に取り組む人の心強い相棒！

坂本史衣

A5　頁328　2023年　定価：3,300円[本体3,000円＋税10%]　[ISBN978-4-260-05271-9]　医学書院